

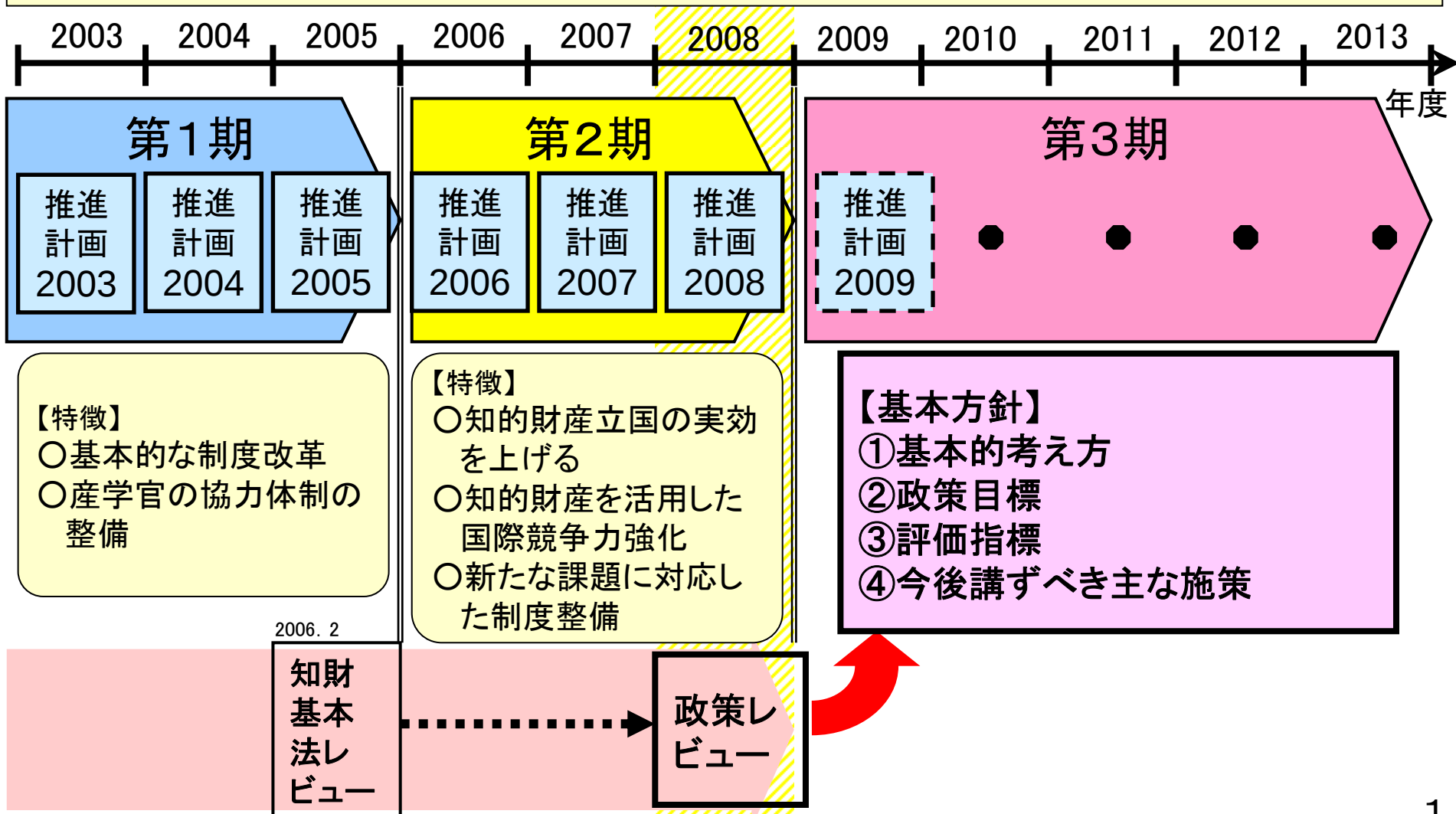
知的財産による競争力強化専門調査会 の進捗状況について

平成20年12月24日

知的財産による競争力強化専門調査会
会長 相澤 益男

政策レビュー及び第3期基本方針の在り方に関する検討

2005年度(平成17年度)の知的財産基本法レビューに係る本部決定に基づき、本年度中にこれまでの知的財産政策に関するレビュー及び今後の知財戦略の在り方に関する検討を行うことが必要。



主な政策レビュー項目

1. 創造

○産学官連携による知的財産の円滑な事業化 等

2. 保護

(1) 知的財産の適切な保護

- ①国際知財システムの構築に向けた取組の強化
- ②知的財産の権利付与の迅速化
- ③知的財産権の安定性・予見性の向上
- ④ノウハウ等の適切な管理(技術流出の防止)
- ⑤利用者ニーズに応じて進化する知財システムの構築 等

(2) 模倣品・海賊版対策の強化

- ①外国における対策
- ②国内における対策
- ③インターネットにおける対策

3. 活用

(1) 知的財産の戦略的活用

(2) 国際標準化活動の強化

(3) 中小・ベンチャー企業への支援

(4) 知財を活用した地域の振興

4. コンテンツをいかした文化創造国家づくり (1) 新しい市場の拡大

- ①デジタル・ネット環境をいかした新しいサービスの促進
- ②海外展開の促進

(2) 契約環境の改善

(3) 世界中のクリエイターの目標となり得る創作環境の整備

(4) 日本ブランドの振興

コンテンツ・日本ブランド専門調査会にて検討中

5. 人材の育成と国民意識の向上

主な検討の視点

- イノベーション創出に係る国際的な競争が激化する中、いかにして競争力のある知的財産を獲得・活用し、勝ち抜いていくか。
- 経済のグローバル化が進展する中、国際的な知財制度の調和を迅速に進めるため、我が国としてどのような役割を果たすべきか。
- 内外の知的財産の有効活用を図るオープン・イノベーションが進展する中、権利の安定性の確保、公正な活用、技術情報の利用環境の向上、産学官連携の促進等にいかに取り組んでいくべきか。
- 情報のデジタル化・ネットワーク化が進展する中、イノベーションの促進やデジタルコンテンツの振興を図るための知財制度や環境の整備をいかに進めるべきか。
- 我が国のコンテンツ、食、ファッション、地域文化等の分野横断的な「日本ブランド」の対外発信や創造力の強化をいかに図るべきか。
- 利用者のニーズに適切に対応した知財システムをいかにして構築すべきか。

今後の予定

政策レビュー及び第3期基本方針の在り方に関する検討

来年3月目途に取りまとめ予定。

先端医療分野における特許保護の在り方に関する検討

本年11月に本専門調査会の下に先端医療特許検討委員会
(委員長:金澤一郎 日本学術会議会長)を設置し、検討中。
来年5月目途に取りまとめ予定。